

## 奥武蔵越生黒山 越生駒ヶ岳ボルダー

令和7年(2025)12月20日 RCT/K

昨年、越生周辺の山をリハビリで登っていた頃、近くに越生駒ヶ岳という山があることを知った。そこで簡単に登れる道がないかと日照水へと続く猿岩林道に入ってみたところ、林道の途中から入るしっかりした山道を見つけた。

暫くしてから、その山道に入ってみると、それは昔の御岳神社への参道だったようで、少し入ると突然道祖神の立つボルダーが現れ、その先にはまた幾つかのボルダーが見られた。急遽山登りは中止しボルダー探索をしたところ、小さいが遊べそうなボルダーが幾つか見つかった。

その後、他のボルダーのトライや肩の故障もあり行きそびれていたが、最近になり易しいボルダーで体調を整える意味もあり掃除をしてトライしてみた。

岩質はチャート、高さは2.5m程までで、少し脆いところがある。課題は易しいものばかりなので紹介するほどのものではないのだが、そこそこ楽しめたのでこんなボルダーもあるということで紹介したい。

アクセスは、越生町黒山の日照水への猿岩林道に入る。駐車は山道の入口付近にも小型車なら可能だが、民家を過ぎた大きな切通し先の道路のふくらみに駐車した方が無難。

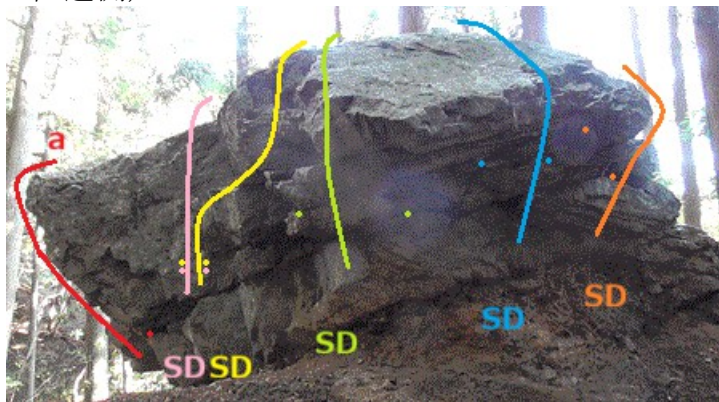
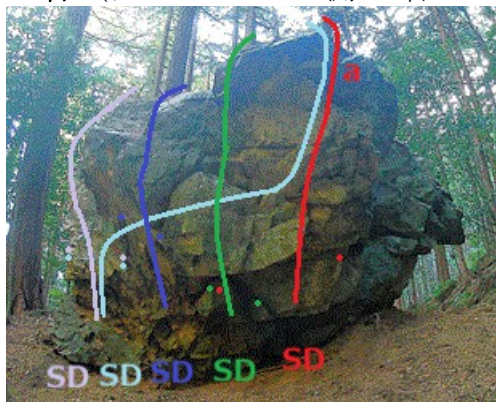
アプローチは、登ってきた林道を戻り最初のヘアピンカーブから顕著な山道に入る。まもなく道祖神の立つA岩があり、さらに奥に進むと、右の山の斜面にC岩、そして山道と御岳神社への登り口の分岐にB岩が3個転がっている。D岩は登ってきた最初のヘアピンカーブの下にある。

シーズンは杉檜の植林帯の中にあり、ちょっと薄暗いところもあるので、夏は乾きが悪く、秋から春がベストと思われる。



### 《課題紹介》

#### ●A-1 岩 (トポ左:ハング左側 右:ハング山道側)



切通しにある道祖神が立つ岩で、高さはなくガバが多いので難しくはないが、ハングしており面白い。

ハング左側は、下地も安定しており、どの課題もガバでグイグイ登れる。

ハング山道側は、下が土手状で少し不安定だが、落ちて問題ない。青ラインがちょっとムーヴがあり面白い。

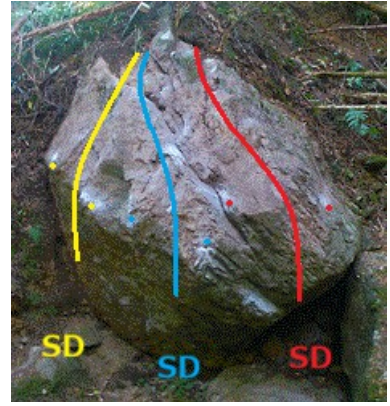
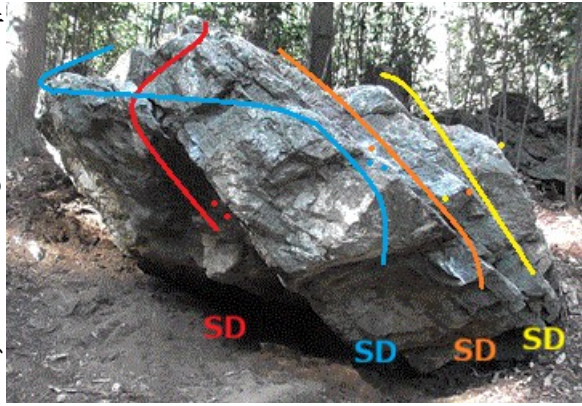


●A-2 岩&A-3 岩 (トポ左:A-2 岩 右:A-3 岩)

A-2 岩は、A-1 岩の手前から沢に下りる踏み跡途中にある背の低い岩。

赤ラインはハング内のガバをマッチで引き付けハング上にデッドする。

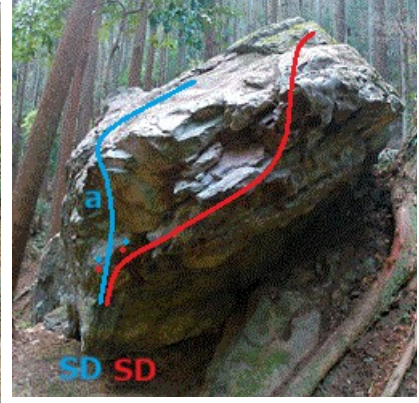
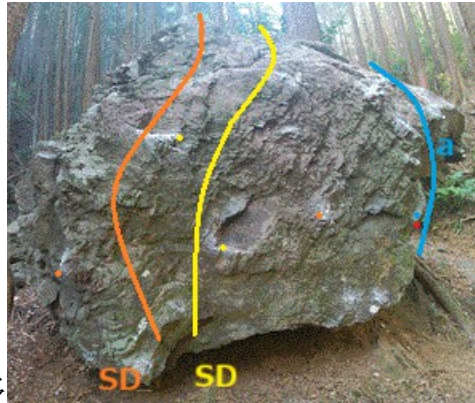
A-3 岩は、A-1 岩の少し先から沢に下りたところにある岩。たまたま沢に下りた時に発見した。苔と泥で覆われ期待していなかったが、意外と面白い課題ができた。



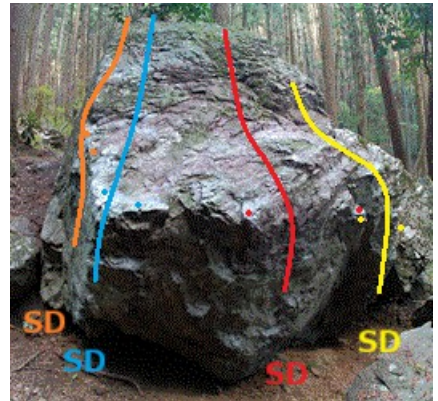
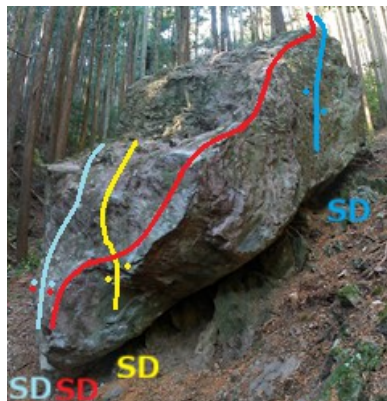
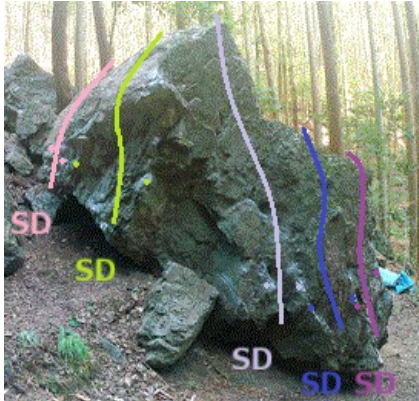
●B-1 岩 (トポ左:東面 右:北面ハング)

山道と御岳神社登山道分岐にある山道側がハングした岩。東面はホールドの方向が悪く登り難い。

北面のハングは浮石が多かったが、落として何とか安定させた。赤・青ラインともにスタートホールドは同じで、赤ラインはガバを右上する。青ラインは、赤ラインのガバに移らず、上部のリップ付近のホールドを使いスラブに這い上がる。



● B-2 岩&B-3 岩 (トポ左:B-2 南西面 中央:B-2 北東面 右:B-3)



B-2 岩は、斜めの細長い岩で、岩自体は大きいが高さがなく、側壁が対象で殆どどの課題は短い。

南西面の課題はどれもホールドが大きく易しい。

北東面は、下部に顕著なハングを持つ。赤ラインが長くムーヴもあり面白い。核心は黄色ラインのスタートホールドに入り遠い右上のカンテ左のガバを一気に取りのムーヴ。トライ中にリップのいいホールドが欠け、黄色ラインの左手のスタートホールドを使うことになり少し遠くなった。

B-3 岩は、スタート部分だけが対象で、上部はスロープ状のスラブ。赤ラインがちょっと面白い。



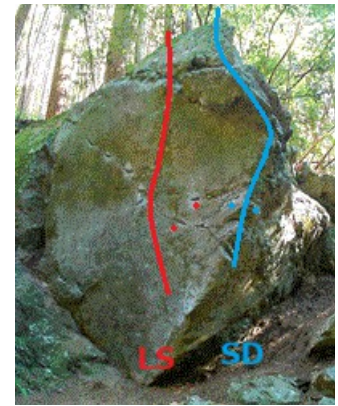
## ●C 岩

B 岩の少し手前の越生駒ヶ岳方向の山の斜面に見える岩。下地が傾斜地なのでちょっと注意が必要。

赤ラインは、両手小カチで足をスメアして身体を上げ左上の小カチにデッドしたら、右手を上部のガバ付近に跳びつき気味にデッド。

青ラインは、カンテラインで少し脆い。

青ラインの右側も登ろうとしたが、トライごとにフットホールドが欠けるのでやめた。

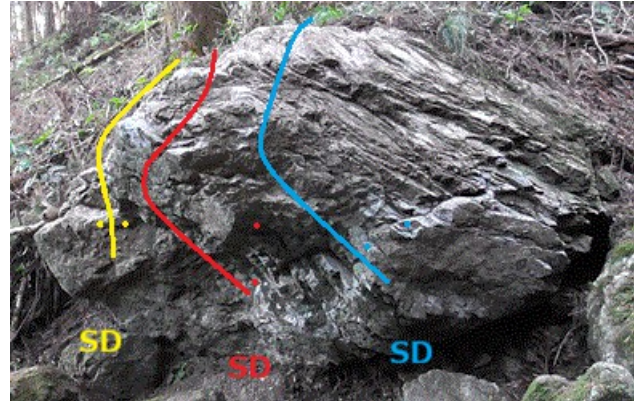
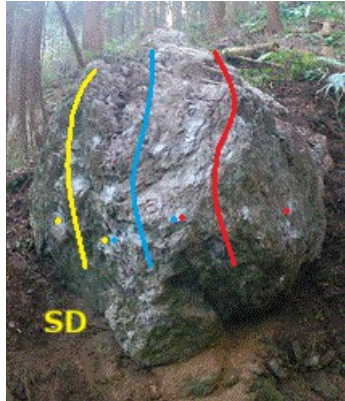


## ●D-1 岩&D-2 岩 (トポ左:D-1 右:D-2)

登ってきた林道の最初のカーブの下、沢沿いにある2個の岩。

D-1 岩は、上流側の岩で少し高さがある。

正面は下が土手になっており、SD スタートには良いホールドがなく、スタンディングポジションスタート。



D-2 岩は、ハングした下流側の岩。ガチャガチャとホールドが多く易しいと思ったが、ホールドに掃除後の泥埃が載っており滑って登り難かった。

赤ラインは、右手スタートはハング内のカチホールド。左手で左側の大きめのカチホールドを取ってからハングのトップを越える。

青ラインは、リップ付近のホールドを左上し最後は直上。青ラインのスタート右のガバからの SD 直上は未解決。